

ネズミ対策の3つのポイント

1. 侵入経路の封鎖 : ネズミを鶏舎に入れない
2. 生息状況の把握 : ラットサインの確認
3. ネズミの駆除 : 毒餌による駆除

まずは、鶏舎にネズミがいないかと、ネズミの侵入経路がないかを確認しましょう

ネズミの痕跡を探す

- ・ ネズミは15mm以上の隙間があれば侵入できます
- ・ 歯が鋭く、木や細い金網などは、かじって穴を空けることがあります
- ・ 手足がとても器用で、力もあります

齧り跡 例) 断熱材や木枠、壁紙などをかじる



こすり跡 (ラットサイン) 例) パイプや柱 色が濃いほど頻繁にあるいは多数来ている



糞

- ・ ネズミは移動しながら糞をする
糞が落ちている動線上にネズミの通り道がある
- ・ 糞の鮮度で通った時期がわかる



鶏舎に来るネズミの種類

ハツカネズミ



頭胴長57-91mm
立体的に動き、跳躍力弱い
齧る力・筋力弱い

クマネズミ



頭胴長150-230mm
立体的に動き、跳躍力とても強い
齧る力・筋力強い

ドブネズミ

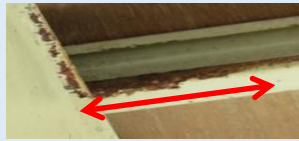


頭胴長110-280mm
平面的に動き、跳躍力強い
齧る力・筋力とても強い

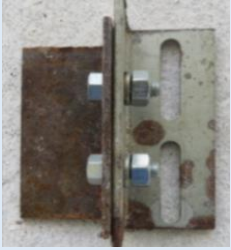
ネズミの種類別にみた鶏舎への侵入しやすい場所と対策

軽量鉄骨の開口部を塞ぐ

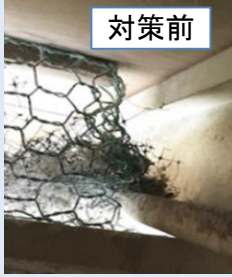
切断面が外部に開口しているリップ溝形鋼は、ネズミの通路になる



ボルトとアングルを組み合わせた金具で閉鎖



金具



対策前



対策後

柱と屋根の隙間を塞ぐ

側壁上部と母屋材との接合部や妻面で母屋との空間が生じる場合がある



対策前

対策後

フリーアングルと鉄板を組み合わせて空間を防ぐ



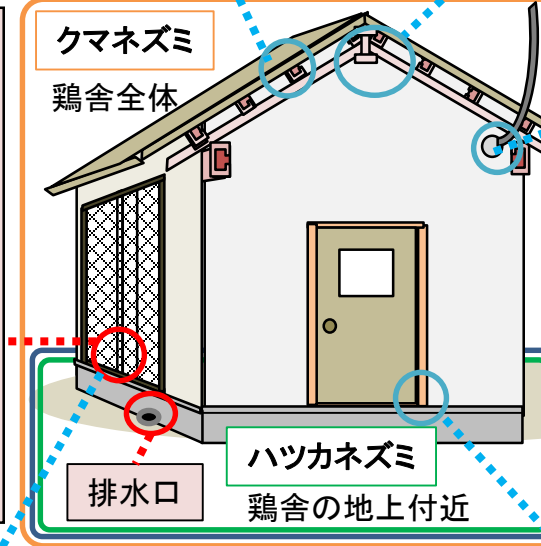
○金網のかじられやすい場所

- ・金網の縁
- ・鶏舎内や外に柱がある付近
- ・ネズミの足場となる場所から高さ15cm以内の位置



クマネズミ

鶏舎全体



電気配線

壁の通し穴の隙間はしっかり埋めておく



排水口

ハツカネズミ

鶏舎の地上付近

掘った穴

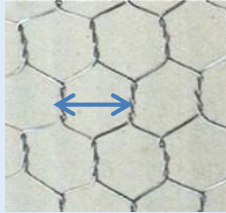
ドブネズミ

鶏舎の地上付近と地中

ネズミの侵入防止に効果的な金網に変更

亀甲金網

網目1.3cm規格以下
ステンレスは線径0.8mm以上
垂鉛引き・ビニール被覆は定期的確認



亀甲金網



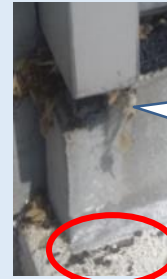
縦網目

溶接金網

溶接金網

網目1.4cm以下
縦網目を長くするときは網目が広がらないよう線径を太くする

ドア枠下や閉扉時の隙間



ドア枠の下が侵入□

ネズミ糞

穴埋めに利用できるラスモルタル <作成方法>

必要資材

スチールウール・水・モルタル※
※(セメントと砂を1:2~3混合)



スチールウール



スチールウールをほぐす



モルタルと水を加え混ぜ練る

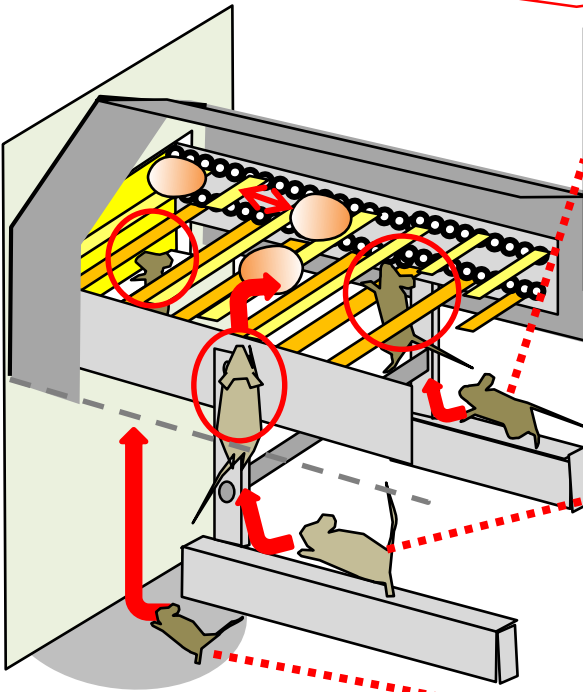
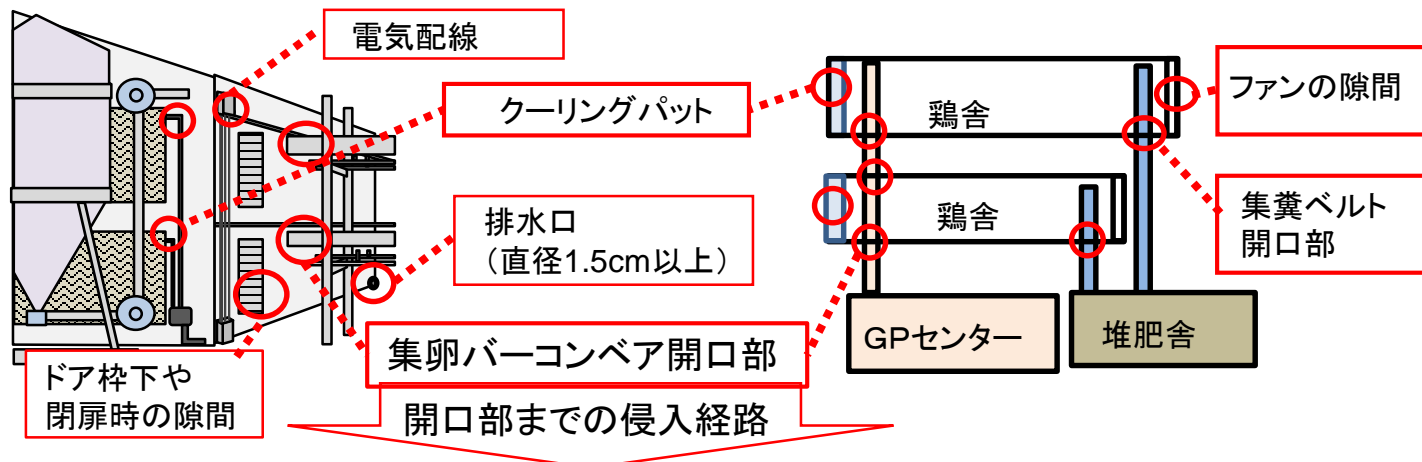


硬化前の状態



隙間を埋める(1晩で硬化)

ウインドレス鶏舎でネズミが侵入しやすい場所



ネズミは集卵バーの隙間（約2cm）に下から直接跳躍しての侵入はできないが様々な場所を伝って侵入する

集卵バーコンベア真下の足場を伝って侵入

ネズミの前足がバーに届く高さ（23cm以内）の足場から侵入

集卵バーコンベアと周囲の構造物の隙間から侵入

バーコンベアと周囲の構造物に15mm以上の隙間があり柱等の足場があれば侵入

集卵バーコンベア開口部に接した壁面を登って侵入

壁に小さな凹凸などがあると数mは登って開口部より侵入。壁に掴む箇所がなくても30cm程は壁を駆け上がり侵入

ネズミが侵入できない集卵バーコンベアの構造

例1

バーコンベア下も含め周囲全てを鉄板で覆う

例2

横の柱部分までカバーを延長し開口部両側の壁まで覆う

例3

ネズミ返し

集糞装置開口部での対策

集糞装置開口部での対策のポイント

- ・ 蓋に人が開け閉めしやすいよう取っ手をつける
- ・ 閉鎖時、蓋の湾曲やズレがないようにする（蓋は厚めの堅い素材にし、開口部周囲にズレ防止ガイド）

○集糞装置開口部の対策例



○バンクリーナー開口部の対策例

板状の蓋ではバンクリーナー鎖部分との間に隙間ができ、ネズミが通過してしまう場合があるため、蓋にチェーンを組み合わせ、隙間を塞ぐ



クマネズミが登りやすい経路と登りにくい経路

ネズミが登りやすい管や柱など

- ・ 直径50mm以下の管や柱
- ・ H形鋼やL形鋼（軽量鉄骨）
- ・ ワイヤー

→ 終点に侵入防止策が必要



ネズミが登りにくい管や柱

垂直で

- ・ 円柱直径75mm以上（プラスチック・金属）
- ・ 角柱幅10cm以上（金属）



ネズミの駆除方法

毒餌

ネズミは、どこに餌があるかを学習済み

ケージ飼いの採卵鶏の場合

- ・普段から餌が落ちる場所に設置
(自動給餌器が通る場所、餌どい付近)
- ・廃鶏後の餌どいに設置

餌が減ったら適宜追加

○鶏の出荷後に鶏舎内に毒餌の設置

鶏がいなくなり餌がなくなると、
ネズミは別の鶏舎へ移動するため、
毒餌を設置して食べさせ、確実に駆除



★毒餌設置に良い場所

※絶対に鶏が摂食できない場所に設置

捕獲器

成獣(特にクマネズミ)は捕獲しにくい、幼獣は捕獲しやすい
ポイント

- ・金属製は水につける等で捕獲器の新品の金属の匂いを消す
- ・捕獲器にネズミの匂いを付けると捕獲されやすい

幼獣は集団で行動することが多く、まとめて捕獲されやすい

粘着シート

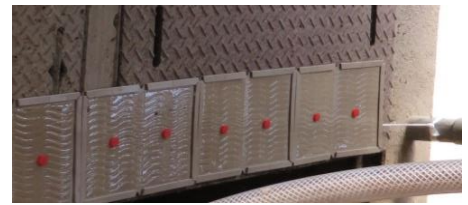
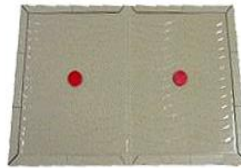
鶏舎内の設置では、クマネズミやドブネズミは粘着シートに接着せず脱出してしまふことがある
→力が強く、手足の裏が汚れた状態のため

○粘着シートへの工夫

- ・何枚かをつないで貼り合わせ大きな1枚のシートにする
- ・粘着シートを固定する

○置く場所

- ネズミの通路(鶏舎隅)
- ネズミの発着地地点
- ネズミの降りてくる場所 等



(参考)ネズミの見分け方

体の大きさが10cm未満

はい

いいえ

体に対し頭と手足が大きい

耳が大きく、しっぽが体より長い

いいえ

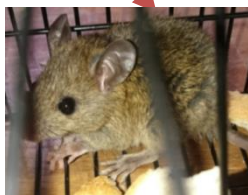
はい

はい

いいえ



ハツカネズミ



クマネズミ幼獣



クマネズミ



ドブネズミ